

令和 3（2021）年度

事業計画

宮崎国際大学

令和 3 (2021) 年度事業計画

宮崎国際大学

はじめに

本学は、学校法人宮崎学園の建学の精神「礼節・勤労」を教育理念とし、リベラル・アーツに基盤をおいた高等教育によって、国際社会に貢献する人材を養成することを目的とする。国際教養学部は、国際的リベラル・アーツ教育を通して、内外の文化、社会と英語に通じた国際人を育成する。教育学部は、高い教養に基づく教育の専門的スキルを備え、広く県内外の教育界へ貢献する小学校教諭、幼稚園教諭及び保育士を養成する。

令和 3 (2021) 年度より、SDGs を意識した教育課程の改革に取り組み、「誰一人取り残さない」という SDGs の理念をもとに、教育の充実を図っていく。

本学の喫緊の課題は学生定員充足、退学者防止、単位の実質化（授業外学習時間の増加）、IR データの効果的活用、キャリア教育の充実、留学生および支援を要する学生へのサポート強化である。

令和 3 (2021) 年度の事業計画の骨子として、下記の具体的目標を掲げる。

1. 学生定員の充足（収容定員充足率：国際教養学部 100%，教育学部 90%）
2. 退学者防止（退学率 2.3%以内）
3. 単位の実質化（授業外学習時間の週平均 13 時間）
4. 就職指導體制の強化（国際教養学部 100%，教育学部 教員採用試験・公務員試験最終合格：二次試験受験者の 65%以上）
5. 外部資金獲得（科研費採択 5 件、競争的補助金 2 千万円）
6. IR センターによるデータ解析結果の活用
7. 留学生および支援を要する学生へのサポート強化（学修支援、生活支援）

重点施策および継続的重要業務

中長期計画（2021-2030）における令和 3 (2021) 年度の重点施策を下記に示す。また、継続的な重要業務も示す。

平成 27 (2015) 年度に実施した認証評価において指摘事項はなかったが、2 点の参考意見が付された。一つは、収容定員充足に向け、入学者の確保に向けて一層の努力が望まれること。もう一つは、財政面で帰属収支差額がマイナスであるので、定員充足に努め、財政基盤の安定化に向けて一層の努力を期待したいという 2 点であった。

注) ★は、平成 27(2015)年度認証評価における指摘事項等に関連する重点項目

①大学教育の質の向上 Improvement of Quality of University Education

事業計画【担当部局】・取組内容	達成状況・課題
【学部共通】 1. キャリア教育の見直しによる就職率増と就職先レベルアップ Improved career placement rate and level of places of employment through re-evaluation of career education program【キャリア教育センター】	
2. AL の教育効果の検証及びその発信	

Validation and promotion of the educational effectiveness of AL 【IR センター】	
3. 学修成果の可視化（ディプロマサプリメント）の見直し Re-evaluation of visualization of educational outcomes (Diploma Supplement) 【国際教養学部・教育学部・IR センター】	
4. 基礎学力向上プロジェクトの設置・実践 Establishment and implementation of Basic Academic Ability Enhancement Project 【国際教養学部・キャリア教育センター】	
5. SDGs に関する分野横断カリキュラムの構築（宮崎学園短大と合同） Development of a cross-disciplinary curriculum (Liaison with Miyazaki Gakuen Jr College) 【学務部】	
【国際教養学部 SILA】	
6. 国際教養学部の人材養成・就職先を明確にした教育目標・教育内容・ディプロマポリシーの再構築 Restructuring of ILA diploma policy for implementation of educational objectives and content with clear targets for cultivation of human resources and career opportunities 【国際教養学部】	
7. 国際教養学部への課題探求型フィールド教育科目の導入（インターンシップを含む） Introduction of problem-based field education courses in ILA (including internships) 【国際教養学部】	
8. 教職課程の円滑な相互乗り入れ（小2種） Mutual access to the teacher certification programs of each School 【国際教養学部】	
9. ★海外交換留学先の拡大 Expansion of international exchange sites 【国際教養学部】	
10. 海外交換留学先の拡大（ダブルデGREE、ジョイントデGREEの開設と取得） Expansion of international exchange sites (establishment and conferral of double degrees and joint degrees) 【国際教養学部】	
11. 留学生の国内交換留学の実施 Implementation of domestic exchange for international students 【国際教養学部】	
【教育学部 EDU】	
12. 自己点検評価の義務化への対応 Preparation for obligatory Self-inspection and Evaluation	

②学外との連携 Community Outreach

1. 宮崎学園中学校・高等学校との連携授業の見直し・充実 Re-evaluation and enrichment of relation-ship of cooperation with Miyazaki Gakuen Jr and Sr HS 【地域連携センター】	
2. 遠隔システムを利用した国内外大学との連携 Cooperation with international and domestic univer-sities vie remote systems 【地域連携センター】	
3. 社会人のための学び直しオンライン講座（資格取得型、生涯学習型） ※オープン教育リソース Online courses for continued learning of working adults 【学務部】	
4. 卒業後3年間のフォロー体制の構築（ホームカミングデイの実施） Development of a 3-year post graduation follow-up system (Home Coming Day) 【事務部】	

5. 同窓会組織の活用 More effective use of the Alumni Association 【事務部】	
---	--

③運営体制の改善 Improvement of Management System

1. 進路説明会の実施拡大（ウェブ説明会含む） Expanded implementation of college explanation sessions 【入試広報部】	
2. ★入試制度の最適構成の構築（入試方法・区分の見直し） Creation of optimal structure for admissions testing (review of admissions test methods and categories) 【入試広報部】	
3. 学務システムの充実 Enrichment of Academic Affairs system 【学務部】	
4. 大学事務職員としての専門性向上チーム設置（大学・短大合同） Establishment of specialization enhancement team for university administrative staff (joint MIC/Tandai) 【事務部】	
5. 日常業務スキルアップ研修の実施（大学・短大合同） Implementation of routine work skill enhancement seminars (joint MIC/Tandai) 【事務部】	
6. 財務分析の実施 Financial status analysis 【事務部】	
7. IR センターにおける内部質保証システム機能強化 Strengthening of the IR Center internal quality assurance system function 【IR センター】	
8. 内部監査に対応する組織の整備 Establishing an organization that supports internal audit 【事務部】	
9. 学長裁量経費等学内助成費体系の見直し Review of on-campus subsidy systems such as the President's discretionary fund 【事務部】	

④外部研究資金・寄付金その他の自己収入の増加 Attracting more external research funds, donations and other self-income

1. 科研費申請・獲得の増加 More applications and awards of Kaken Grants 【国際教養学部・教育学部】	
2. 外部資金獲得委員会による補助金戦略の策定 Establishing strategies for applying for and receiving subsidies via the Committee on External Funding 【国際教養学部・教育学部・地域連携センター】	

⑤施設設備の整備・活用 Maintenance and Use of Facilities 【担当部局 事務部】

1. 校舎等の長寿命化に伴うメンテナンス実施 Maintenance for longer life of campus facilities	
2. 学生活動スペースの増設 Building more spaces for student activities	
3. 学内スポーツジムの整備 Building a sports gym on campus	
4. 保健管理センターの設置（大学・短大：養護教諭・心理師の常駐） Developing vision for a health management center (provisional name) (MIC/Tandai: full-time school nurse, nurse and psychologist)	

⑥将来構想 Future Vision

1. 将来検討委員会の設置 Establishment of a Committee on Future Development 【事務部】	
2. 認証評価準備・受審 Prepare for and undergo reaccreditation 【IRセンター】	
3. 第三者委員会による外部評価 Third party external evaluation 【IRセンター】	
4. 幼・小・中・高と連携した新たな教育課程検討 Consideration of a new cross-institutional curriculum from kindergarten and elementary school to junior and senior high school 【教育学部・学生教職支援センター】	

⑦継続的重要業務

1. 九州地区学生指導協議会の実施【学生部】	
2. 経済的支援業務（奨学金，授業料無償化，給付型奨学金等）【学生部】	
3. 強化部活動の推進（バスケットボール，バレー部，女子サッカー部創設など） 【学生部】	
4. ★高校訪問・進学説明会・オープンキャンパスの実施による入試広報活動 【入試広報部】	
5. 海外研修および留学生の受け入れ【グローバル教育センター】	
6. 教員採用支援プログラム（特別対策講座・保育者養成実践講座・特別対策合宿・教科・教職自主ゼミ・英語力向上プログラム・対策セミナー）の実施 【学生教職支援センター】	
7. 出前講義の実施【地域連携センター】	
8. 就職支援プログラム（公務員試験対策講座・SPI 対策講座・エアライン就活対策講座・エアライン入門講座）の実施【キャリア教育センター】	
9. 教育環境（教室確保，プロジェクター，WiFi）の整備【事務局】	